

「小さくとも持続可能な町」七ヶ宿」を目指して

七ヶ宿町長 小 関 幸 一

あけましておめでとうございます。
町民の皆様におかれましては、ご家族お揃いでの輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

町民の皆様からの付託をいただきまして、3期目の町政運営を担うことになりました。「町民が安心して暮らせる町づくり」を基本として、「小さくとも持続可能な町」の実現を目指し、これまでと同様に第1次産業の活性化、町民の暮らしを守る安全安心対策、教育の充実、若者定住と雇用の拡大、都市との交流などの事業に引き続き積極的に取り組んで参ります。

近年における本町の人口減少は緩やかに、高齢化率も44%台を維持しています。この8年間で取り組んできました移住定住対策や生活環境整備、各種支援事業等の成果が表れてきたものと感じています。人口減少を止めることは決して容易ではありません。今までに創ってきた事業にしっかりとした支援を継続し、成長事業に育てることで持続可能な町としての良い循環ができてくるものと考えております。

皆様の生活に関連しましては、介護や在宅支援等の各種福祉事業、健診、ドック等の各種健康推進事業、18歳までの医療費、学校給食費、保育料の無料化のほか、結婚子育て支援、次世代リーダー育成のための助成など、全世代にわたる生活支援の充実も図っております。また、円安やロシアによるウクライナ侵攻等の影響による原油等の資源高、生活に直結する物価高騰等の危機に対しては、住民生活の安心と事業者生産意欲の維持の観点から、

商品券や支援金事業を行い、迅速な対応を図って参りました。

新型コロナウイルス感染症の発生から3年が経とうとしています。本町では、積極的な感染防止対策に取り組み、5回目のワクチン接種も既に終了を迎えており、早期に皆様の安心に込められたものと思っております。現在は、日常生活と新型コロナウイルスとの両立の時期に入ってきており、感染対策を行って、たうえでの社会活動、経済活動が求められていますので、町としましても、必要な情報の提供と対策を図って参りますので、ご理解ご協力をお願いします。

公立刈田総合病院につきましては、現在まで一市二町で運営を行ってききましたが、本年4月1日からは、白石市単独の病院となることに決定しました。新しい病院の診療科、内容等については、判明次第お知らせを参りますが、今まで同様に受診可能と伺っております。

地方自治体の置かれた環境は、依然として厳しく、日々変化の中ではありますが、「小さくとも持続可能な町」の実現のため、全力を傾注して参りますので、町民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたしまして、新年のごあいさつといたします。

「民意の共有」による議会機能の強化を目指して

七ヶ宿町議会議長 管 原 研 治

町民のみなさんには明るく穏やかな新年を迎えられたことと心よりお喜びを申し上げます。

一昨年から続く新型コロナウイルス感染症は、ワクチン接種や日常的なマスク着用などにより収束の兆しが見えましたが、昨年末から感染者数が増加傾向となり、町民のみなさんには継続的な予防対策をしっかりと行って頂きたいと願っています。

また、昨年勃発したロシアのウクライナ侵攻は世界中に影響を及ぼし、日本国内でも燃料や肥料・飼料の高騰など日々の生活に直結する諸物価の高騰を招き、日本経済も大きな影響を受けているところです。

そうした国内外の状況下ですが、人口の減少や高齢化が進む我が町の現状において、住民福祉の更なる充実はもとより、諸物価の高騰に対応できる農林畜産業への支援拡充や観光産業の活性化による就労人口の確保、異文化にもしっかりと対応できる子育て教育環境の整備や点在する空き家への対応、また、七ヶ宿ダムを有する町の役割として森林や水源地帯の環境整備など、多くの課題に住民の目線に立った行政執行が求められています。

更には、長く地域住民の生命を支えてきた公立刈田総合病院の運営について、町議会に調査特別委員会を設置し病院機能の空白問題など諸問題について審議し、昨年11月の臨時議会で白石市外二町組合の解散を可決承認したこと、本年4月1日より公設民営の(仮称)白石市立病院として運営されることとなり、国保診療所に加え

専門的な診療科を必要としている町民のみなさんが、安心して通院できる具体的な対応策を早急に示すことが必要となっております。

昨年9月に議会の改選が行われ、新たな議員による議会構成となりましたので、町民のみなさんから付託された二元代表制の一翼を担う議会として、行政の監視機能はもとより議会からの情報発信機能を高めながら、町民のみなさんとの「民意の共有」を図り、持続可能な町づくりの基礎となる町民の生活安定のため、積極的に政策提言のできる議会を目指して更なる機能強化に努めて行きたいと思っております。

昨年は町の現状に鑑み、森林伐採の未利用材を活用した木質バイオマス発電施設や幼児・学童の環境整備に力点を置いた複合的な学童保育施設を視察しましたが、町民のみなさんには本年も町議会に対するご理解とご提言を賜りますようお願いを申し上げます。町議会を代表し年頭のご挨拶と致します。

令和5年
新年のご挨拶 を申し上げます